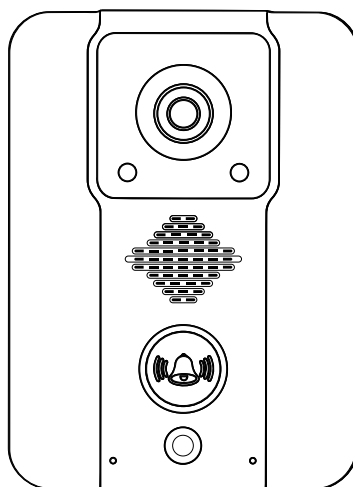
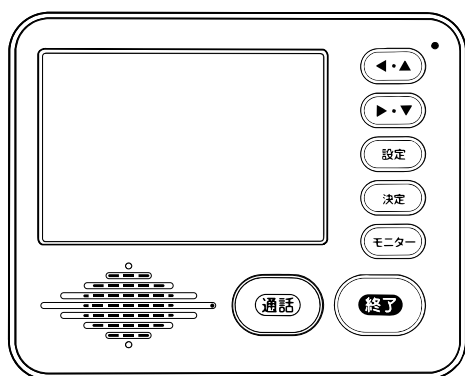


DOSHISHA

ワイヤレステレビドアホン 型番: DDPH-1 / KDPH-1 / ADPH-1

取扱説明書・保証書

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保管してください。





も く じ



安全上のご注意	P.2	モニターカメラ	P.13
ご使用になる前に	P.3	音声設定	P.13
各部の名称とはたらき (親機)	P.4	受話音量・送話音量・呼出音量の設定	P.13
各部の名称とはたらき (子機)	P.5	呼び出し音の選択・操作音のオン/オフ	P.13
使用前の準備	P.6	設定	P.14
付属品の確認	P.6	日付設定	P.14
カメラ付子機・モニター付親機の準備	P.7	画像全削除	P.14
親機と子機のペアリングについて	P.7	輝度の設定	P.14
取り付け方法	P.8	リセット	P.14
モニター付親機の取り付け	P.8	接続	P.14
カメラ付子機の取り付け	P.9	お手入れのしかた	P.14
正しい使い方	P.11	修理・サービスを依頼する前に	P.15
時刻の設定	P.11	主な仕様	P.17
通話する	P.11	保証とアフターサービスについて	P.19
各種設定メニュー	P.12	保証書	裏表紙
画像確認・画像消去	P.12		

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)






図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

警告

 禁止	海外で使用しない。 本機は日本国内専用です。	 禁止	温度の高いところ、水蒸気の多いところ、湿度が高いところ、直射日光が当たるところ、振動の多いところに設置しない。 火災・感電・故障の原因になります。	 指示	電池からもれた液が目に入ったときは、こすらずに水で洗い流し、医師の診察を受ける。 失明や目に障害を負う恐れがあります。
	電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものをのせたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。		 使用禁止		異常時(こげ臭い、発煙など)はACアダプターを抜き、使用を中止する。 火災・感電の原因になります。ACアダプターをすぐに抜くことができるように、容易に手が届く位置のコンセントを使用して設置してください。
	電源ケーブルやACアダプターが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。	 分解禁止		ACアダプターはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。	 ぬれ手禁止
	電源ケーブルやACアダプターを、乳幼児の手の届くところに置かない。 ケーブルが誤って首に巻き付いたりして事故の原因になります。		 指示	ACアダプターの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合は拭き取る。 ホコリが付着したままACアダプターを差し込むと、ショート・火災の原因になります。	
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。 けが・感電の原因になります。	ACアダプターが通電しない場合やケーブルが破損している場合は廃棄する。 ACアダプターが通電しない場合は、分解や修理はせずに廃棄してください。短絡や過負荷により保護装置が作動した場合、保護装置を復帰したり交換することはできません。		モニター付親機を水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。	
	本体のすき間にピンや針金などの金属物、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。				
	雷が鳴り始めたら、電源ケーブルやACアダプターに触れない。 感電の危険があります。				
	ろうそくなど、炎の出るものを近くに置かない。 火災の原因になります。				

⚠ 注意

 禁止	次のようなところでは使わない。 ●ガスコンロなど炎の近く ●引火性のガスがあるところ ●雨や水しぶきがかかるところ ●ホコリの多いところ 変色・変形・火災・感電の原因になります。	 禁止	指定以外の電池を使用しない。 電池の破裂や液漏れにより、火災・けが・故障の原因になります。	 指示	液晶ディスプレイを強く押ししたり、衝撃を与えない。 けが・故障の原因となります。
	熱のこもりやすい狭い場所、直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。 キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災や感電の原因になります。	 指示	電池の極性に注意する。 電池を取り付ける際、電池の+（プラス）と-（マイナス）に注意し、正しく入れてください。電池の破裂や液もれにより、火災・けが・故障の原因になります。		液晶ディスプレイが破損して内部の液体が漏れた場合には、絶対に液体に触らない。 皮膚の炎症を起こす場合があります。すぐにきれいな水で洗い流してください。口にはいたり、目にはいった場合はすぐに医師の診察を受けてください。
	お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。	 指示	電池を廃棄するときは、各地方自治体の指示に従って処分する。 電池の破裂や液もれにより、火災・けが・環境汚染など思わぬ事故の原因になります。		

ご使用になる前に

カメラ付子機に使用する電池について

電池を扱うときには

- 指定以外の電池は使用しない。
- 極性表示を間違えないで挿入する。
- 水や火の中に入れたり、充電・加熱・分解・ショートしない。
- 液漏れがおきたら使用しない。
電池はもちろん、本体も液がついた状態で使用すると危険なため、直接触れずに拭き取るようにし、販売店にご相談ください。万が一、液が体についてしまった場合は、水で十分に洗い流すようにしてください。
- 長時間使用しないときは電池を取りはずす。
- 使いきった電池や、使用推奨期限の過ぎた電池ははずしておく。

免責事項について

お客様、または第三者が、この製品の誤った取扱・故障・その他の不都合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

製品の故障・誤動作または不都合によるお客様または第三者が製品利用の機会をのがしたために発生した損害等、付随的損害の補償については、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

設置する場合に注意してください

【こんな場所にモニター付親機を設置しないでください】

親機は屋内専用です。

- 火気、熱器具、加湿器の近く
- 他の無線機器の近く、電子レンジの近く：3m以上あけてください。（電波干渉やノイズが発生する場合があります。）
- 直接日光のあたる場所や極端に室温があがる場所や下がる場所

【こんな場所にカメラ付子機を設置しないでください】

- 本製品の子機は防滴、防塵仕様（IP44）ですが、雨が直接かかる場所
- 直接日光の影響を多く受ける場所（特に夏場の直射日光を多く受ける場所）

通信について

- 本製品は 2.4 GHz 帯域を使用した通信方式を採用しています。見通しのよい場所では約 30 m の距離まで通信は可能ですが、設置される場所の環境（金属製のドアや壁の厚さや壁素材の種類）によって通信距離は大きく変わります。
- デジタル信号を使用した通信ですが、電波を使用するため、第三者が故意に傍受する可能性があります。

記録された画像について

記録された被写体の肖像権やプライバシーなどに考慮しお客様の責任で管理してください。

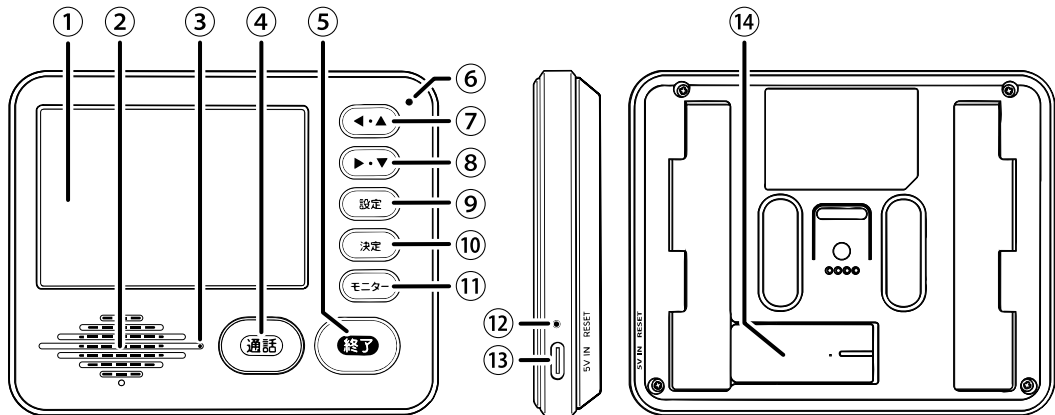
各部の名称とはたらき（親機）

モニター付親機

前面

側面

背面

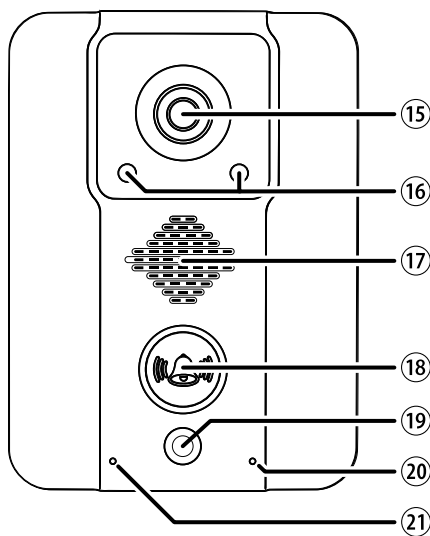


- ① モニターディスプレイ：子機のカメラの映像を映します。設定画面等を表示します
- ② スピーカー：音声が出力されます
- ③ インジケータ：動作中は緑色に点灯します
- ④ 通話ボタン：子機との通話を行うときに使用します
- ⑤ 終了ボタン：子機との通話を終了するときに使用します
- ⑥ マイク：通話時の音声を拾います
- ⑦ ◀・▲：設定時のカーソルの左移動・上移動に使用します
- ⑧ ▶・▼：設定時のカーソルの右移動・下移動に使用します
- ⑨ 設定ボタン：設定メニューの呼び出しに使用します。もう一度押すとメニューが消えます
- ⑩ 決定ボタン：選択したメニューを決定するときに使用します
- ⑪ モニターボタン：子機のカメラを使い、外の様子を確認するときに使用します
* モニター機能の初期設定はオフにしています
- ⑫ リセットボタン：製品を初期化するときに使用します
- ⑬ 電源入力端子：付属のACアダプターとUSBケーブルを接続します
- ⑭ スタンド：本体を自立させるときに使用します

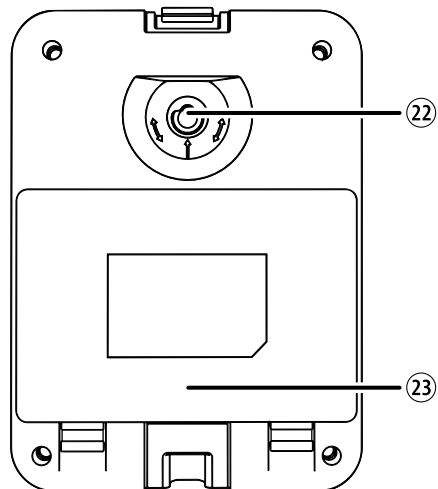
各部の名称とはたらき（子機）

カメラ付子機

前面



背面



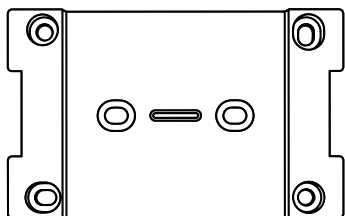
- ⑮ カメラレンズ : 訪問者や外の様子を映します
- ⑯ LEDライト : (設定メニューのカメラの照明がオンのとき)
光センサーにより夜間の通話時に点灯します
- ⑰ スピーカー : 音声が出力されます
- ⑱ 呼び出しボタン : 押すと親機のチャイムが鳴り、通話ができます
- ⑲ 光センサー : 周囲の明るさを検知します
- ⑳ マイク : 通話時の音声を拾います
- ㉑ インジケータ : 動作中に緑色に光ります
- ㉒ カメラ調整レバー : 子機設置時にレンズの向きを調整します
- ㉓ 電池フタ、電池ボックス : 単3形電池 × 6本を入れます

使用前の準備

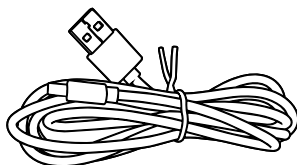
付属品の確認

モニター付親機+カメラ付子機のほかに以下の付属品があります。取り付け前に確認してください

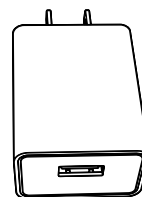
モニター付親機用



壁取り付け用ブラケット

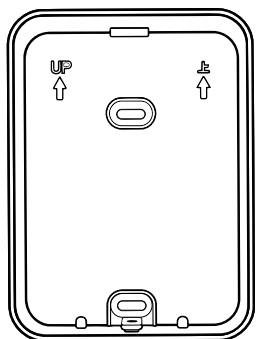


USB電源ケーブル(1.5m)

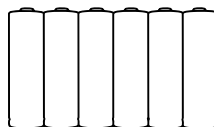


ACアダプター (OUT:5V/1A)

カメラ付子機用



壁取り付け用ブラケット

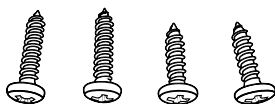


単3形乾電池×6本
(設置時の動作確認用)

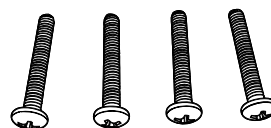


子機固定用ネジ×1本
(壁取り付け用ブラケット
に取り付け済み)

その他、ブラケット取り付けネジ



木ネジ(φ4mm×16mm)×2本
木ネジ(φ4mm×20mm)×2本

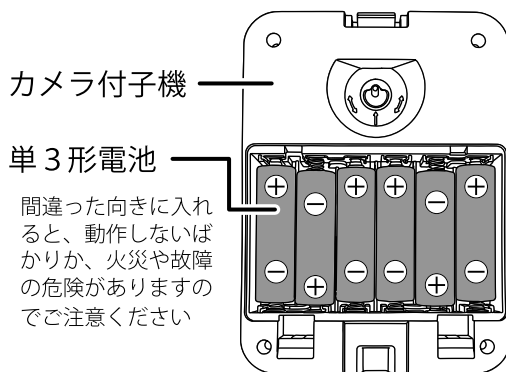


丸皿ビス(φ4mm×25mm)×4本

使用前の準備 (つづき)

カメラ付子機の準備

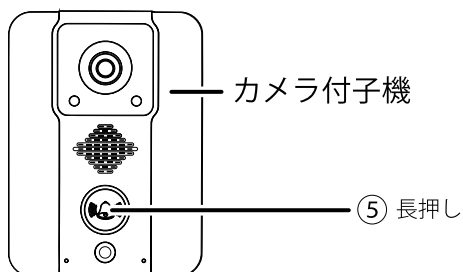
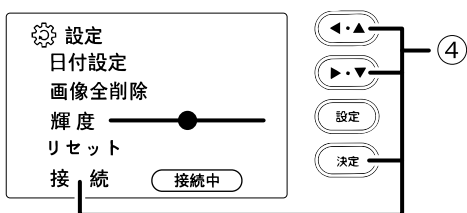
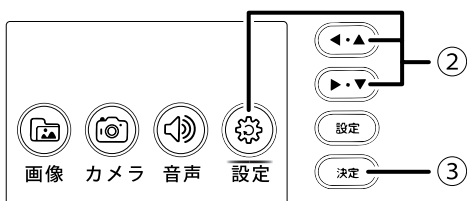
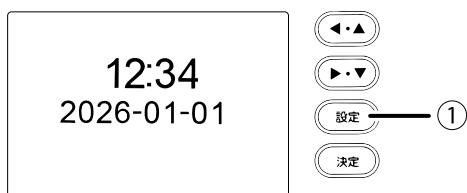
- カメラ付子機を壁取り付け用ブラケットから取り外します
 - 背面の電池フタを開けます
 - 単3形電池を6本入れます
- * 付属の単3形乾電池は取り付け時の動作確認用です。動作の確認をしたら取りはずし、新しい市販の単3形電池を入れてください
電池は消耗品ですので、2400 mAh 以上の単3形ニッケル水素充電電池の使用をおすすめします
または、単3形高性能アルカリ乾電池を使用してください
- 電池フタを取り付けます



親機と子機のペアリングについて

モニター付親機とカメラ付子機は工場出荷段階でペアリング設定済みですが、もしも接続設定がされていない場合やご使用中に接続が切れた場合は再設定をお願いします

- ① 親機の設定ボタンを押します
- ② ◀・▶、▶・▼ ボタンで「設定」を選択します
- ③ 決定ボタンを押します
- ④ ◀・▶、▶・▼ ボタンで「接続」を選択し、決定ボタンを押します
- ⑤ 画面に「接続中」の表示が出たら、カメラ付子機の呼び出しボタンを長押しします
- ⑥ カメラ付子機から「ピッピッピッピッピッ」と6回音が流れたら「接続成功」と表示されます



取り付け方法

警告：現状取り付けられているドアホン等と本製品を入れ替える場合、現状の製品が100V電源直結タイプの時は、取りはずしなどの施工は電気工事士の有資格者に依頼してください

個人での施工は感電の危険や火災の危険がありますので絶対に行わないでください

取り付けにはプラスドライバーが必要ですので準備してください

モニター付親機取り付け

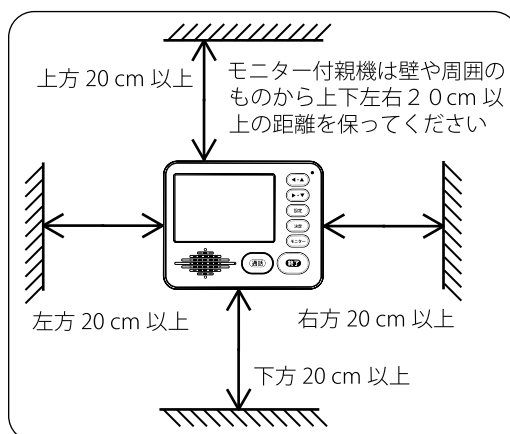
取り付けを行う前に取扱説明書と同梱している別紙説明書を必ずお読みになり、適切な場所に取り付けをしてください

注意：親機と子機の電波接続状態が悪いと通話が途切れる等正しく動作しません

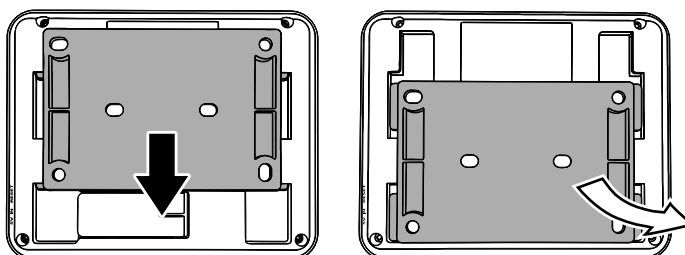
また子機の電池の消耗が激しくなります

*取り付け場所は本体の上下左右に20cm以上の空間のある場所に取り付けてください

上下左右のスペースに余裕がない場合は受信障害が発生する場合があります

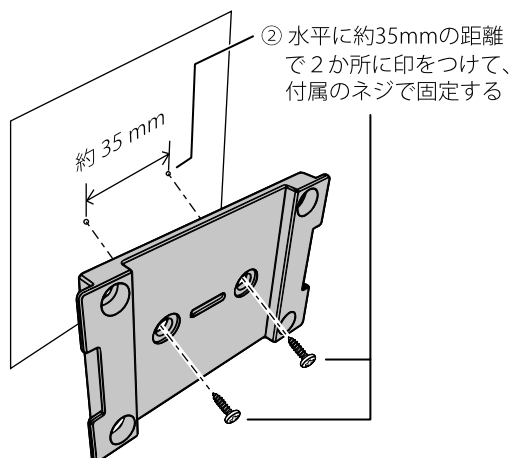


- ① 本体を壁取り付け用ブラケットから取りはずしてください



- ② ブラケットを取り付けたい壁に水平に設置してください。その際ブラケットの中央2か所のネジ穴の位置に鉛筆などで印をつけると取り付けやすくなります

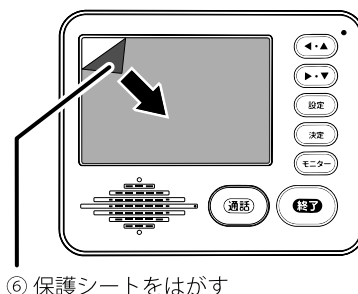
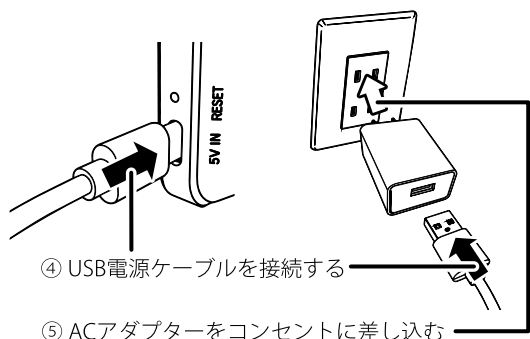
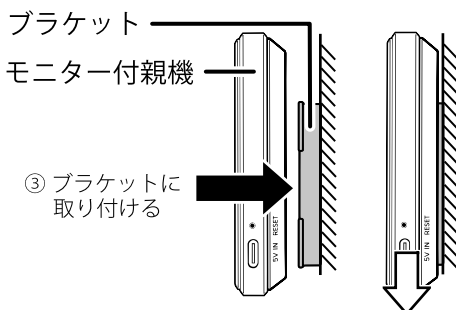
・付属のネジ2本で取り付けします。取り付け場所にあわせて付属のネジの形状と長さを確認してどちらか2本を使用してください。付属のネジで取り付けができない場合は市販のボードアンカーやコンクリートプラグ等を使用するか、施工業者に依頼してください



取り付け方法 (つづき)

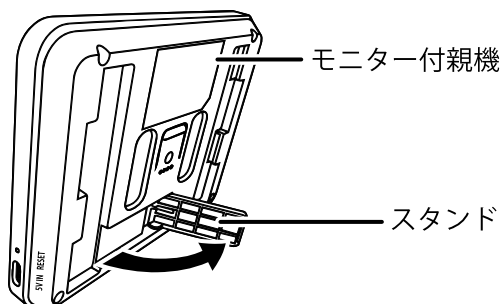
モニター付親機の取り付け (つづき)

- ③ 本体をブラケットに取り付けます
- ④ 付属のACアダプターにUSB電源ケーブルを差し込み、本体の電源入力端子にプラグを差し込みます
- ⑤ ACアダプターをコンセントに差し込みます
- ⑥ モニターディスプレイの保護シートをはがします



(壁に取り付けしない場合)

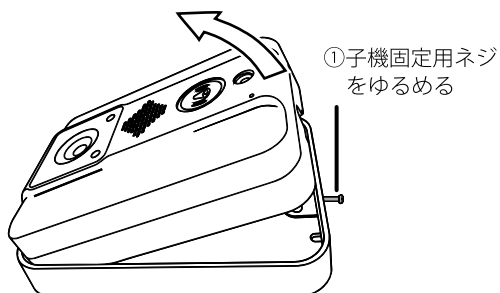
本体背面に自立スタンドがあります。スタンドを起こすことで机の上などに立てることができます



カメラ付子機の取り付け

- ・設置場所は地面から1400mm～1700mmの高さに取り付けてください
- ・夜間のカメラの映りを良くするには、他の照明がある場所がおすすめです

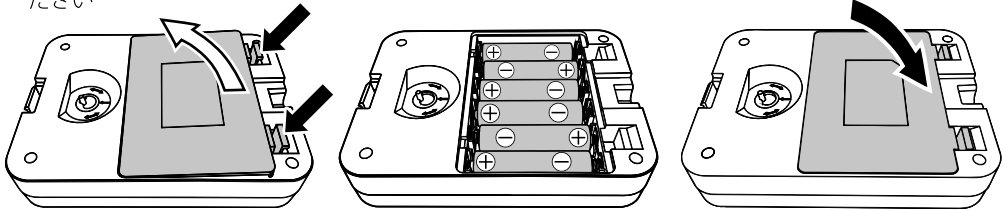
- ① 壁取り付け用ブラケット下部の子機固定用ネジをゆるめて本体を外します



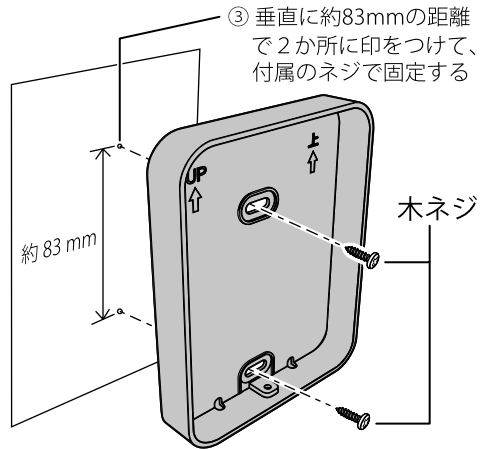
取り付け方法 (つづき)

カメラ付子機の取り付け(つづき)

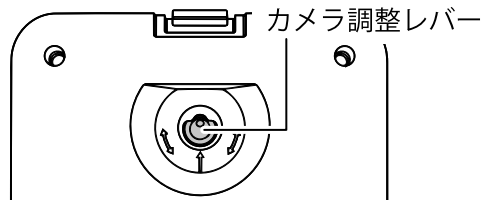
- ② 本体裏面の電池フタを開けて、単3形電池を6本入れます。電池の極性(方向)に注意してください



- ③ ブラケットを取り付けたい場所に付属のネジを使い取り付けをします
- ・壁面に取り付ける場合は付属の木ネジ2本で取り付けます
 - ・スイッチボックス(JIS1個用スイッチボックス)に取り付ける場合は付属の丸皿ビス2本で取り付けます



- ④ 本体をブラケットに固定取り付けを行う前に、カメラレンズの角度調整を行います
- 本体背面のカメラ調整レバーを動かして、被写体が正しく映る角度に手動で調整してください
- *他の人に親機のモニター画面で映り具合を確認してもらいながら調整してください

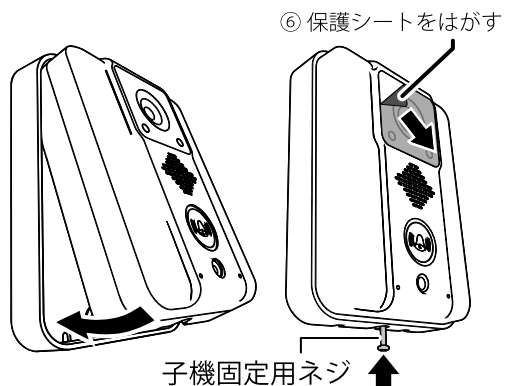


- ⑤ 本体をブラケットに取り付けます。ブラケット下部の子機固定用ネジをプラスドライバーで回し本体を固定します



*ブラケット下部に水抜き穴があります。穴をふさがないようにしてください

穴がふさがったまま使用すると雨水などが裏面にたまり故障の原因となりますので注意してください

- ⑥ カメラレンズの保護シートをはがします













正しい使い方

設定項目を選択するときは、 ボタン、 ボタンを使用して選択します



- ・モニターが非表示のときに、モニター付親機の前面にあるいずれかのボタンを押すとモニターが点灯し、年月日と時刻が画面に表示されます
- ・画面表示後、約15秒間操作が行われない場合は、自動的に画面が消灯しますので、各種設定メニューを操作する場合は、消灯する前に次の操作へお進みください

時刻の設定

- ① 設定ボタンを押して、、 ボタンで「設定」を選択し決定ボタンを押します。
- ② 、 ボタンで「日付設定」を選択し、決定ボタンを押します
- ③ 、 ボタンで年を選択し、決定ボタンを押します
- ④ 、 ボタンで月を選択し、決定ボタンを押します
- ⑤ 、 ボタンで日を選択し、決定ボタンを押します
- ⑥ 同じ操作で時、分を設定して最後に終了ボタンを押して完了です

通話する

- ① カメラ付子機の呼び出しボタンを押す
- ② インジケーターが緑色に点灯します
- ③ モニター付親機のチャイムが鳴り、外部の映像が表示されます
- ④ 通話ボタンを押します
- ⑤ 通話が終了したら終了ボタンを押します

*通話中に 、 ボタンでスピーカー音量の変更ができません

*チャイムが鳴り通話ボタンを押さないと約15秒経過後に自動的にチャイムが終了します

*通話応答しなかった場合はモニターに「未読あり○」と表示されます







各種設定メニュー

設定できるメニュー項目を示しています
各設定が完了したら、本体の終了ボタンを押します

画像	画像リスト		記録されている画像の表示、削除ができます
カメラ	照明	オン	カメラ付子機の光センサーで昼夜を判定しLEDライトを点灯させます
		オフ	カメラ付子機のLEDライトを点灯させません
	モニター	オン	モニター付親機のモニターボタンを押すと外の様子が確認できます
		オフ	モニター付親機のモニターボタンを押しても外の様子は確認できません
音声	受話音量	消音、1～5	受話の音量を変更します
	送話音量	消音、1～5	送話の音量を変更します
	呼出音量	消音、1～5	呼び出し音の音量を変更します
	呼出音選択	1～8	お好みの呼び出し音に変更します
	操作音	オン	ボタン操作時の操作音を出力します
オフ		ボタン操作時の操作音を出力しません	
設定	日付設定		年月日と時刻を設定します
	画像全削除		保存されている画像を一括削除します
	輝度	1～5	モニター画面の明るさを変更します
	リセット		製品の設定を初期化します
	接続		親機と子機のペアリングに使用します(本書7ページをご確認ください)

画像確認

録画された画像の確認ができます
留守中に訪問があった場合はモニターに「未読あり」が表示されます

- ① 設定ボタンを押して、、 ボタンで「画像」を選択し決定ボタンを押します
- ② 画像リストが表示されます 、 ボタンで見たい画像を選択し決定ボタンを押します
- ③ 次の画像を見たい場合は 、 ボタンを押すことで確認ができます

画像消去

- ① 画像表示された状態で決定ボタンを押します
- ② モニターに画像削除の実行/中止の表示が出ますので、実行にカーソルをあわせて決定ボタンを押します

*画像は最大95件保存できます
*保存された画像を一括で全件削除したい場合は14ページをご確認ください

各種設定メニュー（つづき）

モニターカメラの設定

カメラ付子機の設定ができます
初期設定では子機の省エネのため、LEDライト、モニター機能はオフにしています

- ① 設定ボタンを押します
- ② ◀・▲、▶・▼ ボタンで「カメラ」を選択し、決定ボタンを押します

＜照明のオン・オフ＞

- ③ ◀・▲、▶・▼ ボタンで「照明」を選択し、決定ボタンでオン/オフを切り替えます

照明：オン

夜間等周囲の明るさが暗い場合、カメラ付子機の光センサーにより呼び出しボタンまたはモニターボタンを押した時にLEDライトが点灯します

＜モニターのオン・オフ＞

- ④ ◀・▲、▶・▼ ボタンで「モニター」を選択し、決定ボタンを押します
- ◀・▲、▶・▼ ボタンで、オンにする場合は「設定」、オフにする場合は「中止」を選択し、決定ボタンを押します

モニター：オン

親機のモニターボタンを押すと外の様子が確認できます

*モニター機能をオンにするとカメラ付子機の電池の使用時間が大幅に短くなりますので、通常はオフの状態を使用することをおすすめします

- ⑤ 設定した内容は、子機と通話した後に有効になります。11ページをご確認ください

音声設定

受話音量、送話音量、呼出音量、呼出音選択、操作音の5種類の設定ができます

受話音量・送話音量・呼出音量の設定

- ① 設定ボタンを押します
- ② ◀・▲、▶・▼ ボタンで「音声」を選択し、決定ボタンを押します
- ③ ◀・▲、▶・▼ ボタンで設定したいメニュー（受話音量・送話音量・呼出音量）を選択し、決定ボタンを押します
- ④ ◀・▲、▶・▼ ボタンで音量の変更を行います。消音×→音量1→音量2→音量3→音量4→音量5
- ⑤ 設定したら、再度設定ボタンを押します
- ⑥ 送話音量の設定は、子機と通話した後に有効になります。11ページをご確認ください

呼び出し音の選択

- ① 設定ボタンを押します
- ② ◀・▲、▶・▼ ボタンで「音声」を選択し、決定ボタンを押します
*ミュート時は呼出音量は設定変更できません
- ③ ◀・▲、▶・▼ ボタンで「呼出音選択」を選択し、決定ボタンを押します
- ④ ◀・▲、▶・▼ ボタンでお好みの音を選択します。選択したら再度設定ボタンを押します

操作音のオン/オフ

ボタン操作時の音のオン/オフの切り替え

- ① 設定ボタンを押します
- ② ◀・▲、▶・▼ ボタンで「音声」を選択し、決定ボタンを押します
- ③ ◀・▲、▶・▼ ボタンで「操作音」を選択し、決定ボタンを押します
- ④ 決定ボタンでオン/オフの切り替えができます

各種設定メニュー（つづき）

設定

日付設定、画像全削除、輝度、リセット、接続が選択できます

日付設定

日付設定は、本書11ページの「時刻の設定」をご確認ください

画像全削除

画像全削除は、保存されている画像を一括削除します

- ① 設定ボタンを押します
- ② ◀・▲、▶・▼ ボタンで「設定」を選択し、決定ボタンを押します
- ③ ◀・▲、▶・▼ ボタンで「画像全削除」を選択し、決定ボタンを押します
- ④ ◀・▲、▶・▼ ボタンで「実行」か「中止」を選択し、決定ボタンを押します

輝度の設定

輝度は、モニター画面の明るさを変更できます

- ① 設定ボタンを押します
- ② ◀・▲、▶・▼ ボタンで「設定」を選択し、決定ボタンを押します
- ③ ◀・▲、▶・▼ ボタンで「輝度」を選択し、決定ボタンを押します
- ④ ◀・▲、▶・▼ ボタンで変更します。
5段階の設定ができます

リセット

製品の設定を初期化します

- ① 設定ボタンを押します
- ② ◀・▲、▶・▼ ボタンで「設定」を選択し、決定ボタンを押します
- ③ ◀・▲、▶・▼ ボタンで「リセット」を選択し、決定ボタンを押します
- ④ ◀・▲、▶・▼ ボタンで「実行」を選択し、決定ボタンを押します

接続

接続は、本書7ページの「親機と子機のペアリングについて」をご確認ください

お手入れのしかた



警告

- ・親機のお手入れの際は、必ずACアダプターをコンセントから抜く
感電・火災・けがの原因になります。



注意

- ・ベンジン・シンナーでは拭かない
変色や変形の原因になります。
- ・化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従って使用する
変色・キズの原因になります。
- ・本体に水をかけたりしない
感電・故障の原因になります。

親機本体や子機の汚れは、ぬるま湯か台所用洗剤に浸してかたくしぼった柔らかい布で拭き取り、さらに乾いた布でやさしくから拭きをしてください

（樹脂部分は強くこすらないでください。キズの原因になることがあります）

修理・サービスを依頼する前に



- ・修理技術者以外の人は分解や修理をしない
火災・感電・けがの原因になります

「故障かな？」と思った時は次の点を調べてください

症状	主な原因	処置
映像が乱れる、映像表示が遅い	<ul style="list-style-type: none"> ・親機と子機が離れすぎている ・親機と子機の上に金属製のドアやコンクリート遮蔽物がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・親機と子機を近づける ・親機モニターのアナテナマークが4本以上になる場所に設置する
モニター画面が白っぽく表示される	太陽の光がレンズにあたっている	太陽の光が直接レンズに当たらない位置に子機を移動する
映像がぼやける	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラ付子機のレンズ表面が汚れている ・子機内部が結露している 	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラ付子機のレンズ部分を掃除する ・しばらく放置して様子を見る
<ul style="list-style-type: none"> ・呼び出しができない ・呼び出し応答ができない 	<ul style="list-style-type: none"> ・親機と子機が離れすぎている ・親機と子機の上に金属製のドアやコンクリート遮蔽物がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・親機と子機を近づける ・親機モニターのアナテナマークが4本以上になる場所に設置する
	カメラ付子機の電池が切れている	モニターの電池マークが赤く表示されているか確認し、表示されている場合はカメラ付子機に新しい電池を入れる
	<ul style="list-style-type: none"> ・通信が切れている ・親機モニター画面に「接続が切れました」と表示されている 	本書7ページの「親機と子機のペアリングについて」を確認し、再接続設定してください
子機からの呼び出し音が鳴らない	親機の「呼出音量」が消音になっている	呼出音量の設定をやり直す
親機のスピーカーからの音声 が聞こえない、音が小さい	親機の「受話音量」が消音になっているか、音量が小さく設定されている	受話音量の設定をやり直す
子機のスピーカーからの音声 が聞こえない、音が小さい	親機の「送話音量」が消音になっているか、音量が小さく設定されている	送話音量の設定をやり直す
モニターボタンを押しても 外の映像が映らない	モニター設定がオフになっている	モニター設定をオンにする *初期設定はオフにしています
<ul style="list-style-type: none"> ・夜間の画像が暗く映らない ・カメラ付子機のLEDライトが点灯しない 	親機の照明設定がオフになっている	親機の照明設定をオンにする
モニター付親機の電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ・ACアダプターが、コンセントから抜けている ・USB-Aプラグが、ACアダプターから抜けている ・USB-Cプラグが、親機から抜けている 	ACアダプター、USBプラグの接続を確認する

修理・サービスを依頼する前に（つづき）

症状	主な原因	処置
子機の電池の消耗が早い	親機のモニター設定がオンになっている	親機のモニター設定をオフにする
	廉価タイプのアルカリ乾電池やマンガン乾電池を使用している	<ul style="list-style-type: none"> ・2400mAh以上のニッケル水素充電池を使用する ・高性能高寿命のアルカリ乾電池を使用する
	電波の接続状態が悪い	モニターのアンテナマークが4本以上立つ位置に親機の設置場所を変更する

長年ご使用の製品はよく点検を

このような症状はありませんか？

- 電源コードやACアダプターが異常に熱い
- コードを動かすと、通電したり、しなかったりする
- こげ臭い匂いがする。
- その他の異常・故障がある

このような症状のときは、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントからACアダプターを抜いて、必ず販売店またはドウシシャお客様相談室に点検をご相談ください

主な仕様

モニター付親機 仕様

型番	DDPH-1-1/KDPH-1-1/ADPH-1-1
電源	ACアダプター AC100V - 240V 50/60Hz 0.5A 出力 DC5V 1.0A
消費電力	3W (動作時。スタンバイ時 0.9W)
通話無線方式	2.4 GHz
モニター	3.5型 TFTパネル 画素数 318×212 RGB
通信可能距離	約30m (親機との間に障害物がある場合は約10m)
画像保存件数	95件
外形寸法	(約) 幅122×奥行19×高さ98mm (突起物除く)
質量	(約) 110g (本体のみ)

カメラ付子機 仕様

型番	DDPH-1-2/KDPH-1-2/ADPH-1-2	
電源	単3形電池 × 6本 (推奨: 2400mAh以上のニッケル水素充電電池) 別売・市販品	
電池寿命	測定条件	1日3回、1回10秒通話、子機LED照明OFF
	ニッケル水素充電電池	約12カ月 (単3形ニッケル水素充電電池2400mAh × 6本使用時)
	高性能アルカリ乾電池	約8カ月 (単3形高性能アルカリ乾電池 × 6本使用時) (*1)
使用環境	-10℃から+50℃ 湿度90%以下	
カメラ解像度	30万画素	
照明	LED (光センサーによる自動点灯)	
防塵防水	IP44	
外形寸法	(約) 幅95×奥行34×高さ129mm (突起物除く)	
質量	(約) 135g (本体のみ)	

*1: 廉価タイプのアルカリ乾電池やマンガン乾電池を使用すると極端に持続時間が短くなる場合があります。

- 仕様などは改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)
- 取扱説明書に使用されているイラストと実際の商品は一部異なる場合があります。

MEMO

保証とアフターサービスについて

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に「故障かな?と思ったら」の内容をチェックして、問題が解決できるか確認してください。問題が解決しないときは、まずUSB電源ケーブルと電池を抜いて、お買い上げの販売店もしくはドウシシャお客様相談室までご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

有償修理とさせていただきます。

ご連絡していただきたい内容

- ご住所・お名前・電話番号
- 製品名・型番・お買い上げ日・お買い上げ販売店名
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しくご連絡ください）

修理・ご相談における個人情報の取り扱いについて

株式会社ドウシシャ（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様のお名前・ご住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記のとおり、お取り扱いします。当社は、お客様の個人情報を、製品のご相談の対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。法令に基づく業務の履行または権限の行使のために必要な場合や、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。

補修用性能部品について

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を保持するために必要な部品です。
- 本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後3年間です。

商品についてのご不明な点や故障・修理に関するご相談は

ご購入時のレシートまたは
保証書をお手元にご用意の
上お問い合わせください。

WEB
からの
お問い合わせ

ドウシシャお客様サポート



<https://www.doshisha.co.jp/support/>



ドウシシャのパーツ購入は **ドウシシャマルシェ**
DOSHISHA Marché
ONLINE STORE 公式オンラインストアで
<https://www.doshisha-marche.jp/>

お電話から
お問い合わせ

☎0120-104-481

【受付時間】9:00～17:00(祝日以外の月～金曜日)

修理品
発送先

ドウシシャ 〒915-0801
福井カスタマーセンター 福井県越前市家久町41-1
※事前の連絡なしに商品を発送された場合には、修理を受け付ける
ことができません。

 株式会社ドウシシャ

<https://www.doshisha.co.jp/>